

たんぽぽ

風に乗って飛ぶたんぽぽの穂のように、情報が広く届きますように...

『地域福祉』とは・・・

様々な担い手が協力し合い、だれもが住みなれた地域で、
孤立することなくゆるやかなつながりを感じながら、
安心して自分らしく暮らせる社会を目指すこと。



第2次三田市地域福祉計画・三田市社会福祉協議会地域福祉推進計画

だれもが住みなれた地域で安心して、生きがいを持って生活できるまち



第2次計画では、これまでの地域での取り組みを基に、もっとたくさんの人が参加をして、「自分たちにできること」「みんなで協力してできること」を考え、活動を広げたり深めたりしながら、だれもが安心して生きがいを持って暮らせるまちづくりを進めていくことを目指します。

三田市と三田市社会福祉協議会では、市民・事業者・社会福祉協議会・行政が協力して、課題解決※に取り組むことを目指した計画をつくりました。

一滴のしずくが水面に波紋をつくり出すように地域福祉の輪を広げていきましょう。

※解決すべき課題・・・ひとり暮らし高齢者や認知症の増加、核家族化による子育て、介護の負担増大、いじめ、不登校、虐待、DV、孤立死、自死（自殺）の増加など

～実現に向けて、5つの基本目標～

基本目標1：みんながいきいき参加・活動できるまちづくり

～互いの得意分野を活かして「みんな」のために～



大切にしている視点

地縁型活動とテーマ型活動を協働によりつなげる

小地域つどい・サロンは、今や市内に110か所以上となりました。その多くは、高齢者の交流、生きがいづくり、見守りをテーマに開催されていますが、地域によってテーマはそれぞれ。広野地区すくすく教室では、その地域に住んでいる子育てを終えた世代のボランティアが中心となり、「子育て支援」をテーマにサロンを開催されています。

区・自治会などの地縁組織と、テーマ型の活動団体が、一緒に取り組むことで、活動の活性化、新たな担い手の創造につながります。



基本目標2：みんなでふれあい、支え合うまちづくり

～だれもにやさしいまちづくりがまちを活性化させる～



大切にしている視点

見守り・支援(セ-フィネット)と地域活性化をつなげる

各地域では、ちょっとした生活の困りごとを、助け合いにより、解決に取り組む、生活支援の活動が広がっています。活動者は、自らの活動のことを「住みなれた地域で、自分らしく生きるためのお手伝い」と紹介しています。住みなれた地域に愛着をもち、ゆるやかなつながりのなかで、「お互い様」と言いあえる関係をつくっていくことが、魅力ある地域づくりにつながるのではないのでしょうか。



※基本目標①②の関連記事・・・P4で活動を紹介しています。

基本目標3：支援が必要な人を見逃さないまちづくり

～日常の備えと取り組みが災害時にも生きる～



大切にする視点

日常と災害時をつなげる

「何かあったらたすけてな!」と、普段から言い合える関係性は、いざという時に、みんなで守り、みんなで助かる命の見守りへとつながります。各地区で実施されている防災訓練では、車いすの利用者や、認知症の人の避難について検討されているところもあります。避難のあり方を考えることは、その人の日常の生活の困りごとに触れる機会にもなります。公の果たすべき責任に加え、一人ひとりが身を守る術を知ることと、お互いに声をかけ合い、支え合うこと。普段からの意識が、災害にも強いまちづくりにつながります。



基本目標4：安心して支援が受けられるまちづくり

～だれもが自分らしく暮らせて、地域人材（財）になれるまち～



大切にする視点

権利擁護とエンパワメント(自立支援)をつなげる

何らかの生きづらさを抱える方が、同じ立場で気軽に仲間とつながれる居場所として、ピアサロン『たけのふし』を開催しています。

参加者の中には、日ごろ家族以外の方と話す機会がなく、『たけのふし』がきっかけで仲間づくりになった方や、ずっと続けていた趣味を披露するきっかけになり、個展を開かれた方もいらっしゃいます。

社会とのつながりを強めつつ、自らの力で生きがいを感じながら自分らしく生活できる視点を大切にします。



基本目標5：地域福祉の基盤づくり

～行政・民間の強み・弱みを補完し合う協働のしくみづくりをめざす～



大切にする視点

行政と民間を協働によりつなげる

地域の課題は、地域だけでなく、行政をはじめとする様々な機関が一緒になって解決していく必要があります。

障がいのある方が地域で暮らすことを考える『地域自立支援協議会』では、障がいのある人の地域生活や、就労についてなど、当事者はもちろん、市や社協、専門機関、地域住民などが、それぞれの強みを活かしながら、協力しあい、一人ひとりの生活を支えていける基盤づくりに取り組んでいます。



みんなでふれあい、支え合うまちづくり

～ だれにもやさしいまちづくりが、
まちを活性化させる ～

誰かと「つながり」、誰もが安心して暮らせるよう「見守り」、困りごとがあれば「支え合う」。地域福祉推進計画では、身近な暮らしのなかに、このような活動が広がることを目指した取り組みを進めます。

今回は、地域住民だからこそできる、暮らしの中の「支え合い」に取り組むグループを紹介します。

まごの手活動

三田地区 ささえ愛たい

ちょっとした困りごとをお聞かせください
お手伝い出来るかも知れません！！

誕生…

平成25年2月、三田地区にお住まいの方を対象に、区長・自治会長会やふれあい活動推進協議会の協力のもと、「三田地区 ささえあい隊 まごの手活動スタート講座」が開講。

講座修了後、活動に向けた話し合いを続け、まごの手活動「三田地区 ささえ愛たい」が誕生しました。



講座の様子

ちょっとした…

生活のなかには、いろいろな困りごとがあります。自分で解決できること、専門機関や制度で、そして、ちょっとしたお手伝いで解決できること。

まごの手活動「三田地区 ささえ愛たい」は、以前は、向こう三軒両隣の支え合いで解決していたような困りごとに耳を傾け、「ちょっとした」お手伝いを行っています。（※マイカーでの送迎は出来ません。）

そして、そこに生まれる地域の「つながり」を大切にしています。



「いかがですか？」から
“つながり” が…

拠点…

活動の拠点は、誰もが気軽に集える地域交流の場、県民交流広場「三田じばやん倶楽部」。子育てサロンやふれあいカフェ、あそびの広場、季節に応じた様々なイベントなどが行われています。

このような「地縁」による場を拠点とし、身近な困りごとに耳を傾け、支え合い、地域を元気にするという「テーマ」活動を推進することで、より地域に密着した体制が生まれています。

三田じばやん倶楽部「ふれあいカフェ」
月曜日 10時から16時
火・木曜日 10時から12時
水・金曜日 14時から16時

「三田地区 ささえ愛たい」
火・木曜日 10時から12時
電話（558-8782）で相談受付
「ふれあいカフェ」でもお話を
うかがいます。



地域福祉活動に関するご相談はこちらまで！ ご気軽にどうぞ★

三田市ボランティア活動センター（総合福祉保健センター内）	TEL:564-0410 FAX:559-5945
三田三輪地域福祉支援室（総合福祉保健センター内）	TEL:559-5965 FAX:559-5945
フラワー地域福祉支援室（フラワータウン市民センター内）	TEL:550-9008 FAX:550-9009
ウッディカルチャー地域福祉支援室（ウッディタウン市民センター内）	TEL:553-8373 FAX:553-7023
広野本庄地域福祉支援室（広野市民センター内）	TEL:560-5822 FAX:560-5823
藍地域福祉支援室（藍市民センター内）	TEL:568-5400 FAX:568-5405
小野高平地域福祉支援室（高平ふるさと交流センター内）	TEL:560-8177 FAX:560-8178